

平成 27 年度 第 1 回運営委員会議事録

議事録作成：牛島晃司

開催日時：平成 27 年 4 月 9 日（木） 19 時 00 ～ 20 時 20 分

開催場所：久留米工業大学 100 号館 2 階同窓会事務局横応接室

出席者：柳瀬会長 陣内副会長 林副会長 以下敬称略 池田 高西 原田 重野 牛島

欠席者：梶山

●役員任命

人事に関して事務局より 3 月半ば頃に会長に打診。柳瀬会長より各役員の任命。中原さん以外の方は了承を得る。中原さんに関しては、手紙で連絡を取る予定。支部会長を本部役員にという依頼が大分支部よりあったので、大分・佐賀・沖縄支部会長を評議委員に任命。幹事増員の為、若い人を中心に勧誘して欲しい。その都度任命は会長から出来るようにしたい。

1. 卒業記念祝賀会費用についての報告

学生・保護者の参加者が少ない。昔のような活気はなく、保護者席はかなり空いていた。学生には開始時間は当日伝えている。卒業証書授与等終了後 12 時頃解散なのに（来賓の新棟見学があっていた為）開始が 13 時と遅く、待ち長いのでは。大学から保護者・学生にタイムスケジュールをどのような形で案内しているかは不明。保護者テーブルの食事は残り、学生の方は食事は無くなっていた。学生と保護者を一緒にテーブルにした方が、教員も含めてコミュニケーションを取れたのではないかと。次年度は参加率が上がるような提案をしたい。

2. 新棟開館式

新聞社が 2 社来ていた（西日本新聞・久留米日日新聞）。外構ができて正式に開館式。

3. 学生支援について

①愁華祭

総括した書類が再提出されたが、盗難の原因や正確な額・対応策を纏めた内容ではなかった。こちらの問題視している点を学生は理解してなかった。スポンサー企業へのお礼状も現時点で未送付。昨年度出演してもらう事で吉本との繋がりが出来たはずだが、新委員長によると、前年度委員長より引継ぎが何もなかったとの事。

林先生と牛島が顧問に就いたが、牛島は 12 月頃に愁華祭副顧問から外れた。林先生に関して顧問継続か否かを学生の判断に委ねたところ、学生が顧問は必要ないと判断。相談があれば受け付ける旨は学生に伝え、林先生も離任。学生サービス課に 2 人の離任の件報告済み。

11 月の大総会と愁華祭の同時開催は大学の意図で絶対なのか？→「午前中総会→愁華祭見学→午後祝賀会」の流れを考えていたので、同窓会から大学に提案したまで。

②援助対象クラブの基準

一部のところに偏らないように、また、基準を明文化したい。今まで出していた条件は、大学等から支援を受けているところは除くのみ。

過去の給付先：殆どが、愁華祭・フォーミュラプロジェクトの 2 件。まれに沖縄県人会・ラリープロジェクト。

過去の周知方法：約 1 ヶ月間数か所の掲示板にポスターを掲示。学生サービス課にも募集要項を置いて募集。

→受付期間は限定しても、通年掲示し、常時学生に周知すべきでは。

→掲示時期を前期と後期に分ける。前期で対象クラブがなければ、予算を残しておいて後期でも可能にしては。

→ポスター作りが上手な学生に作ってもらえば、そこからも援助の周知が出来るのでは。

→掲示板だけではなく、大学に許可をもらい食堂・エレベーター等にも掲示してはどうか。

フォーミュラは文科系にも体育系にも含まれない。担当窓口不明。学長に直接プレゼンし、欲しい金額を学生から提示している。大学ではなく学長がスポンサー様。発足して約 10 年、現在ものづくりセンター付き。年間活動費が 300 万円以上になり、部活になると寄付がもらえない。学生サービス課に申請に行ったら、認可に数年かかると言われた。学友会に所属すると大学が通帳管理。お金を自分達で管理しないと不明点がでくるため所属していない。自分達で管理しているから、学生がお金の流れを分かっている。大学を通して部品を購入する場合でも、帳面のコピーをもらって帳簿を記入。愁華祭が残金分からないのは、大学と自分達と 2 つ通帳があるからなのではないか。

フォーミュラと同じ形態が加工プロジェクト、折り紙プロジェクト、ものづくりプロジェクト。全てものづくりセンター付き。学校からの連絡、勧誘についての案内等が連絡されていない状況。学生活動は課外活動、学生の活動だから学友会の中の活動ではないかと提案したが、認められていない。副学長が改善に向け活動中。

大学の経費削減が進み、新しい芽をつんでしまうことを懸念。従来通り大学等から援助が無いことが基本、書類審査とプレゼンによって判断。間口は最初からは狭めない方が良い。応募が無ければ間口を広める。学生はプレゼンがあることで諦める。

野球部等正規クラブについては。まず大学に申請するはず。「数年申請したが認定されないで同窓会に」なら受付していいのでは。その場合、現在得ている資金額も判断材料として重要。学生にお金の大切さも分かってほしい。学生は年間予算額を認識しているのか？→（学生の）部長位は知っているのでは。台帳はつけているが、学生ではなく、監督・コーチ・部長が記入・管理しているのが実態。学生サービス課にクラブの台帳はある。判断材料として台帳は提出要と思われる。

4. その他・連絡事項

・役員会

総会が無ければ役員会。今年度総会が開かれるが、役員会は開催するか？開催しない場合予算をどうするか？

決算報告は総会でもいいが、予算承認が 11 月では期間が長い為問題がある。例年通り役員会開催。大分から提案があった本部 + 各支部代表での会合を、役員会後で調整したい。50 周年の為に集まって話したい、本部も会員増加の活動要。

・沖縄支部

林先生・竹下会長（佐賀）・日名子さん（大分）、3 月沖縄支部設立会参加。沖縄側は当初 28 名だったが最終的に 11 名参加。高江洲章さんを中心に北・南・中部でそれぞれ代表決定。2 年前から支部設立の為、林先生に南部で活動してもらい、それも併せて沖縄支部になった。もっと早くこのような機会が欲しかった、他支部より活動を活発にしていきたいとのこと。支部の一部の方は仕事で年 1～2 回福岡に来ているそうなので、可能であれば総会近くにしてもらい、参加してもらえれば。母校を大事にして貰っている印象。総会後にでも、支部会員を集め報告会がてら集まる場を作ってあげたい。

・同窓会終身会費

今まで大学会計課に担当してもらい、学費と一緒に徴収、3 月最終週に小切手でもらっていた。人事異動で担当が変わり、引継ぎがうまくされなかった為か、大学からの入金 が 4 月末までに振込となってしまう、昨年度の収入が無い状態。留年生リストは貰っている、通常年度末返金、前年度留年生の返金が出来ていない→手紙だけでも出しておいた方がいいのでは。

・新学長

学長と会う機会を作ってほしいと以前大学に依頼。4 月になってからの事だったが、返事はまだ。